

一般質問

町政を問う

今回3名が質問し、
その要約を掲載しました。

桐原健一議員…………… 13P

- ・高齢者用肺炎球菌ワクチン接種の助成について
- ・子育て支援について
- ・舟渡団地跡地について

三村孝信議員…………… 14P

- ・平成26年度町長の施政方針について
- ・城里町一般選挙における投票率の低下傾向について

藤咲芙美子議員…………… 15P

- ・子どもの内部被曝検査について
- ・健康診査の拡充について
- ・防災無線について
- ・七会診療所について



桐原 健一 議員

高齢者用肺炎球菌ワクチン接種の助成について

〈町長〉 予防接種法の見直しにより、本年10月から成人用肺炎球菌ワクチンが定期予防接種になる予定である。

桐原 2012年人口動態統計で、肺炎は日本人の死亡原因の第3位と上昇傾向にあり、特に75歳以上では死亡率が増加するため、早期予防が大事であると言われている。本町において、65歳以上を対象とした成人用肺炎球菌ワクチン接種費用の助成制度を導入してはどうか。

桐原 国において予防接種法の見直しが行われており、本年10月ごろまでに成人用肺炎球菌ワクチンを定期予防接種に加える方針を固めた。成人用肺炎球菌ワクチンが定期予防接種になれば実施するようになるので、もう少しの間お待ちいただきたい。

桐原 県内ではこの市町村が実施しているか。

桐原 44市町村中36市町村で実施しており、半額程度の補助が大半である。

桐原 本町では中学3年生までの医療費助成を実施しているが、さらに18歳まで医療費助成を引き上げてはどうか。

桐原 県において、本年10月から、小学3年生までだった医療費助成制度（マル福制度）の対象者を、入院・外来を小学校6年生までに、入院のみ中学生までに拡充することになっており、本町においても、近隣市町村の動向や財政状況等を踏まえた中で、前向きに検討してまいりたい。

子育て支援について



〈町長〉 本年10月からのマル福拡充に伴い、次世代育成に向けた枠の拡充の必要性等を考慮し、前向きに検討してまいりたい。

舟渡団地跡地について

桐原 宅地分譲してはどうかという質問を以前もしているが、その後どのような跡地の活用を進めているのか。

桐原 宅地分譲の方向で進める考えは変わっていない。跡地の中にはある集会所を利用して下坏区意向を尊重しながら調整を図り、本年度中には宅地分譲を条件に売却するとか、いずれにしても結果を出していかねばならない。



「舟渡団地跡地」

平成26年度町長の施政方針について



みおら 三村 孝信 議員

〈町長〉(仮称)桂町民センターは、桂公民館を改修し公民館と支所機能を一体化、太陽光発電誘致は本格的に事業推進に取り組んでまいりたい。



「本庁舎建設工事の状況」

三村 本庁舎建設の進捗状況と(仮称)桂町民センター建設について伺う。

町長 平成26年3月末までの本庁舎建設の進捗状況は全体の14%で、工程表のとおり進行している。(仮称)桂町民センターは、桂公民館を改修し、桂図書館2階の桂支所を移す予定だ。公民館と支所機能を一体化したものとす。

三村 太陽光発電の誘致について進捗状況を伺う。

町長 上野地内の公園墓地計画跡地約40ヘクタール、の町有地を売却する方向でいる。また、小勝地内のやまびこの郷グラウンド跡地2ヘクタールと北方地内の桂保育所跡地0.3ヘクタールは、事業者に町有地を貸し付けるかたちで進めている。町有地の有効活用や新たな雇用が見込まれ、遊休地の貸し付けによる借地料や固定資産税、遊休地の処分に



「3階建ての入院棟」

三村 太陽光発電の誘致について進捗状況を伺う。

町長 上野地内の公園墓地計画跡地約40ヘクタール、の町有地を売却する方向でいる。また、小勝地内のやまびこの郷グラウンド跡地2ヘクタールと北方地内の桂保育所跡地0.3ヘクタールは、事業者に町有地を貸し付けるかたちで進めている。町有地の有効活用や新たな雇用が見込まれ、遊休地の貸し付けによる借地料や固定資産税、遊休地の処分に

三村 よる新たな税収を期待するところである。今後も町有地や遊休地を積極的に活用して事業を進めていきたい。

三村 七会診療所の入院棟について伺う。

町長 入院棟については昭和55年に完成し、33年経過している。平成19年3月まで使用したが、現在は検査棟として1階のみを使用している。国庫補助を受けているので、耐用年数39年を過ぎないで

三村 投票所が町13ヶ所に減ったため、高齢者の中には交通手段がなく行けない人もいるのではないかと対策は考えているか。

〈その他の質問〉

- ・桂中学校体育館建設について
- ・ホロルの湯周辺整備について
- ・小中学校の土曜日の授業実施について等

取り壊すと補助金返還が生じるので、当面倉庫として活用したい。

城里町一般選挙における投票率の低下傾向について

〈総務課長〉

若年層の投票率のアップにつながる啓蒙啓発、高齢者が安全に投票ができる環境整備に取り組んでまいりたい。

三村 城里町の一般選挙における投票率が低下しているが、町長の認識は。

総務課長 投票率の低下は、全国的な傾向である。若年層の投票率のアップにつながるような啓蒙啓発に努める。

三村 投票所が町13ヶ所に減ったため、高齢者の中には交通手段がなく行けない人もいるのではないかと対策は考えているか。

〈その他の質問〉

- ・桂中学校体育館建設について
- ・ホロルの湯周辺整備について
- ・小中学校の土曜日の授業実施について等

子どもの内部被曝検査について



ふじさく 藤咲 議員

〈町長〉 現段階において甲状腺検査の必要性はないと考えるが、これからの国の方針に従ってまいりたい。

藤咲 原発事故から3年。たとえ低線量であっても内部被曝によって長期にわたってDNAを破壊し続け、晩発生障害が起こる可能性も高い。特に子どもの検

査が必要と思うが。町長 福島県が実施した検査でも健康に影響する数値は出ておらず、甲状腺検査の必要性はないと考えている。

健康診査の拡充について

〈町長〉 広報やHP等での啓発、パンフレット配布などの方法で、受診率向上を目指す。

藤咲 現在の受検者は半数以下。特定健診の更なる受診率向上の手立ては。

藤咲 胃がん検診は来ているが、避難者から健診の相談は来ていない。

町長 特定健診は県内第2位の受診率だが、特定健診対象外の40歳未満にも受診勧奨を行っていく。

藤咲 原発事故で本町へ来ている方への対応は。

町長 県から依頼

町長 昨年度末、国保加入者70歳までに通知した。

藤咲 きめ細やかに



「がん検診無料クーポン券」

な対応、教育によって乳がんの視触診検査を復活させてはどうか。

町長 マンモグラフィが主。自己検査法の普及も努めた。

藤咲 がん無料クーポン券事業の縮小は受診率アップに逆行すると思うが。

町長 試行的に実施したが、受診率は横ばいなので、今年度は子宮頸がんを21歳、乳がんを41歳に特定した。

防災無線について

〈町長〉 防災無線デジタル化を町に取り入れ、全町一斉放送でやっていきたい。

藤咲 本町は高齢者が多いので防災無線が不可欠だ。故障中で使えない家もあるが。

の全町民への同一情報の一斉放送については検討する。

町長 震災で庁舎が被災したこと

が音声の確に伝達されていない地域が拡大し、ご不便をおかけしている。緊急時



「防災無線」

七会診療所について

〈町長〉 これからも安心して医療を受けられる診療施設を目指す。

藤咲 地域住民に欠かせない施設。住民のニーズに応え、拠点医療機関としての役割を果たせるようにすべきと思うが。

医地区医療の中心的役割を果たしてきた。初期診療所として経営安定化を図りながら施設整備を進めていきたい。

町長 診療所は無